

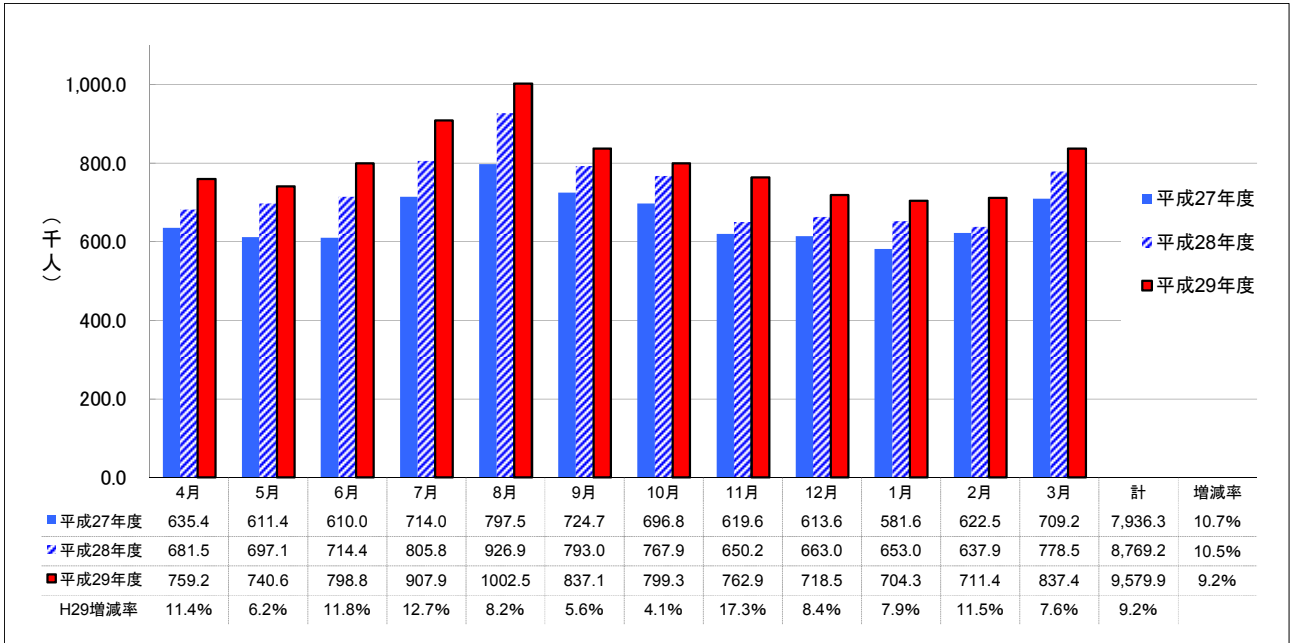
平成 29 年度 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
平成 30 年 4 月発表

平成 29 年度の観光客数は、957 万 9,900 人で過去最高

対前年度 (H28) 比 +81 万 700 人、+9.2%

■月別入域観光客数の推移 (平成 27 年度～平成 29 年度)



■平成 29 年度の概況 (総括)

平成 29 年度の入域観光客数は 957 万 9,900 人で、前年度比で 81 万 700 人、率にして 9.2%の増加となった。初の 900 万人台を記録し、5 年連続で過去最高を更新した。

平成 28 年度に続き、全ての月において前年同月を上回り、各月の過去最高記録を更新した。特に 8 月は初めて単月で 100 万人を突破したほか、70 万人台を下回る月が一度もないなど、着実にボトムアップしている。

前年度と比べて増加した要因は次の通りと考えられる。

- 行政や民間が一体となったプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったこと
- 離島直行便など国内航空路線の拡充による国内客の増加
- 東南アジア方面などの海外航空路線の拡充・クルーズ船寄港回数の増による外国客の増加

■平成 30 年度の見通し

景気が緩やかな回復基調にあることや、各航空会社による航空路線拡充の動きがあることなどから、国内観光地との競合が想定されるものの、国内旅行市場は堅調に推移すると見られる。

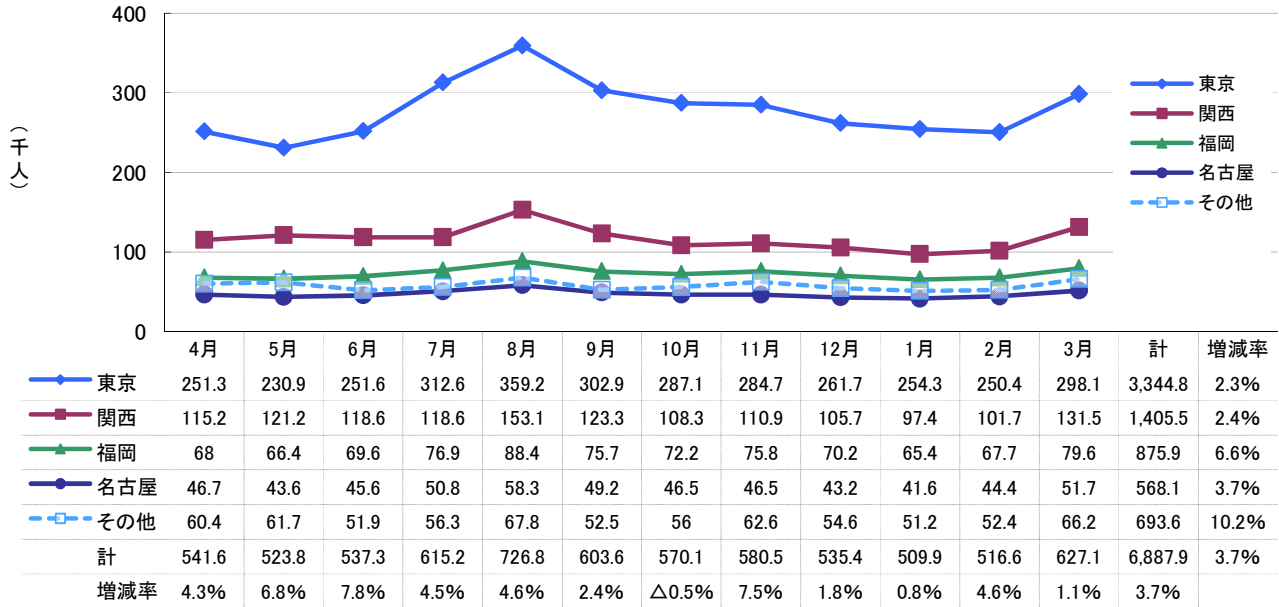
また、外国客については、台湾・高雄－那覇間において LCC による就航予定があり、空路客の入込増加が期待されることや、クルーズ船の寄港についても増加する予定となっていること等から、順調に推移するものと見込まれる。

国内観光客の動向

■入域観光客数（国内）

平成 29 年度の国内客は、5 年連続で過去最高となる 688 万 7,900 人で、対前年比で 24 万 7,800 人、率にして 3.7%の増加となった。これまでの年度における国内客の過去最高の入込は、平成 28 年度の 664 万 100 人。

■平成 29 年度国内観光客の状況（方面別の月別推移）



■国内観光客の概況

平成 29 年度は台風の影響があったものの、景気回復基調が継続したことで全体として国内旅行需要は好調に推移した。名古屋－宮古路線の新規就航等の航空路線の拡充に加えて、各離島への直行便も好調であったこと等から、前年度を上回った。

【方面別の動向】

東京方面 羽田－那覇路線の増便等航空路線の拡充に加えて、離島への直行便についても好調であったこと等から、前年度を上回った。

関西方面 神戸－那覇路線を中心とした航空路線の拡充や、関西から宮古・石垣への直行便がいずれも好調であったこと等から、前年度を上回った。

福岡方面 北九州－那覇路線の新規就航など航空路線が拡充したことにより前年を上回り、前年度の熊本地震の影響から増加率は主要方面で最も高かった。

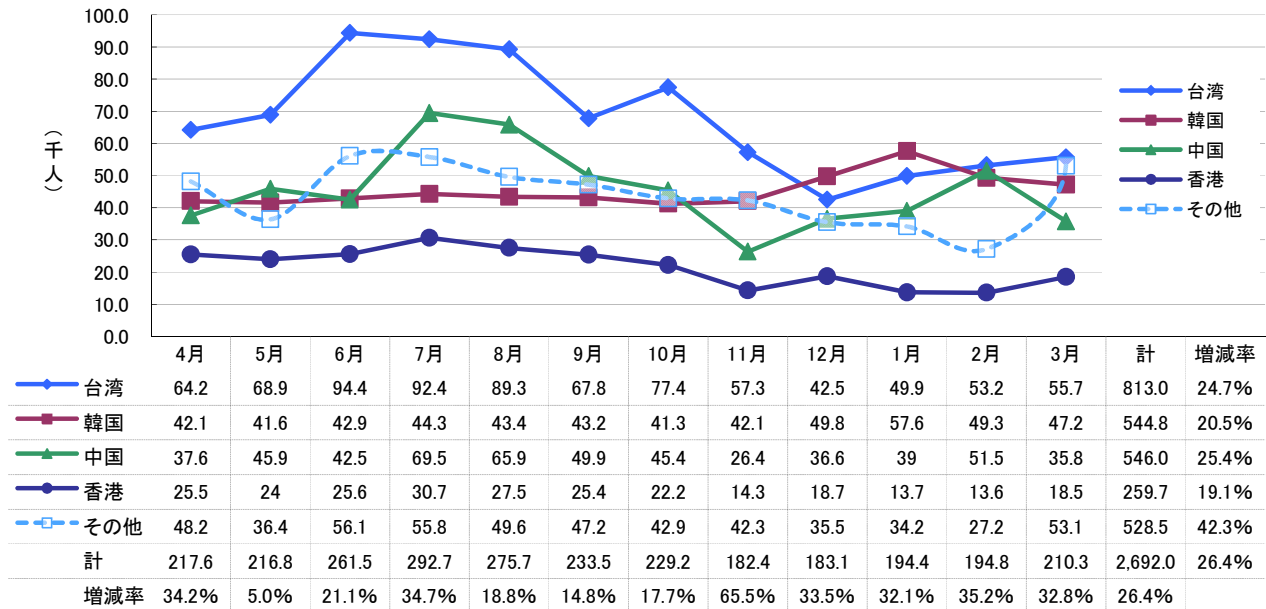
名古屋方面 名古屋－宮古路線の新規就航や、石垣への直行便についても好調であったこと等から、前年度を上回った。

外国人観光客の動向

■入域観光客数（外国）

平成 29 年度の外国客は、10 年連続で過去最高となる 269 万 2,000 人で、対前年比で 56 万 2,900 人、率にして 26.4%の増となった。これまでの年度における外国客の過去最高の入込は、平成 28 年度の 212 万 9,100 人。

■平成 29 年度外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



■外国人観光客の概況

平成 29 年度は、昨年度から引き続き訪日旅行人気が続いていることに加え、沖縄発着航空路線の新規就航および既存路線の増便があり、空路客が増加した。

また、クルーズ船寄港回数が夏場を中心に大きく増加したことにより、海路客が大幅に増加した。

【国籍別の動向】

台湾

タイガーエアー台湾による高雄－那覇路線の新規就航などの航空路線の拡充に加え、クルーズ船の寄港回数増により、空路・海路客ともに増加し初の 80 万人台となった。

韓国

ティーウェイ航空による大邱－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充により、空路客を中心に増加、過去最高を更新し、初の 50 万人台となった。

中国本土

中国東方航空による西安－那覇路線の新規就航等により空路は前年度並みとなったが、中国発クルーズ船の寄港回数増により、海路客が増加し、初の 50 万人台となった。

香港

香港エクスプレスによる香港－石垣路線の通年化や、香港発クルーズ船の寄港により、空路・海路客ともに増加、過去最高を更新した。

その他

ピーチアビエーションによるバンコク－那覇路線の通年運航や、ジェットスター・アジア航空によるシンガポール－那覇路線の新規就航など東南アジア方面での航空路線の拡充があった。